

NPO北海道十勝バイコロジをすすめる会

HOROSHI-KAサイクリング

愛好者60人、峠を疾走

【鹿追、上士幌】2016年の台風による被災で通行止めとなった鹿追と上士幌を結ぶ道道鹿追峠平線の幌鹿峠を自転車で走る「Hイクリング」を楽しんだ。

「NPO北海道十勝バイコロジをすすめる会」などの実行委が主催した。鹿追の然別湖と、上士幌のめかひら源泉郷スキー場横のゲートスタート地点に、参加者が幌鹿峠の頂上を目指した。

上士幌側には24人が集合。幌鹿峠の閉鎖前は年に数回走っていたという帯広市の自営業小川宣幸さん(45)は「坂道の厳しさと景色の良さは管内でも有数のルート。再開はうれしい」と話した。鹿追側には30人超が集まった。

参加者は午前10時、西スタート地点から一斉に出発。険しい坂道では懸命にペダルをこぎ、峠頂上からの下りでは、スピードに乗って風を切り、さっそうと駆け抜けた。

夫婦で参加したオホーツク管内訓子府町の会社員山内新一さん(43)は「東西通行のないコースを走れるのは貴重な体験。安全に快道に走行できた」。札幌市の会社員高木亨宏さん(44)は「然別湖群の眺めが最高だった」と話し、大雪山国立公園内を走る幌鹿峠ルートを満喫していた。

道道鹿追峠平線は復旧工事が完了し、26日午前10時半、2年8カ月ぶりに一般通行を全面再開する。(菊地信一郎、大庭イサク)



幌鹿峠の頂上を目指し、上士幌町側から一斉にスタートする参加者 (村本典之撮影)

公園内を走る幌鹿峠ルート
を満喫していた。

道道鹿追峠平線は復旧工
事が完了し、26日午前10時
半、2年8カ月ぶりに一般
通行を全面再開する。
(菊地信一郎、大庭イサク)